

# 「生産区画・養蚕場」

土地に浸みたお嬢様成分が回りに回って突然変異する生物が現れ始める。

これもその一種。

巨大化しただけでなく母乳を主食とし乳房内に好んで生息する特性を持つ新種の蚕である。通常の絹よりも更に上質な物を大量に生産可能。

この蚕は母乳を多く出させるために乳腺内で催淫・感度上昇効果のある粘液を分泌する。

蚕の活動時間中は担当者はひたすら絶頂して食事もままならないため、希釈したお嬢様特注栄養液を尻穴から摂取している。

脱落者が出るほどの過酷な職場だが、育乳具合は格段に速い。



―生産区画・乳機栽培農場―

土地のお嬢様成分が増加するほど作物は栄養満点を維持したまま巨大に育つ。あまりに巨大に育つため母乳動力機械で収穫していたが出力が加減しづらいので傷物にしやすいかった。

そして、試行錯誤を重ね現在の「ツルベパイヌキ」方式となる。

携帯搾乳機を原型とした専用搾乳機を乳首内で固定。体と作物を連結し、あとは母乳の出るまま搾られるままに蓄乳袋を最大まで膨らませ、増す重みで緩やかに引きずり上げる。



## ―生産区画・乳洋生物飼育及び養殖場―

広がり続けているお嬢様母乳域は海洋の一部を侵食していた。陸と同様に突然変異する海洋生物が出現。

のちに乳洋生物と呼ばれる彼らは母乳を主食とし、産卵場所や住処に適当な超乳があれば力強く育っていく。

昨今問題になりつつある母乳過多を調整する役として期待されている。

この時代、この嬢下町なら乳洋生物の飼育・養殖は容易い。嬢下町は乳製品・農作物のみならず魚や肉という食料も安定供給できる存在となりつつあった。

極大超乳がもたらす大いなる恩恵の数々。

そのため、母乳が侵蝕するこの世界に異を唱える人々は少ない。

「お嬢様乳域・展望室」

搾乳兵器ミルニールの使用過多で淫乱覚醒し、体がちよつと大人の女性に成長したお嬢様。  
おっぱいの成長力も比例し超加速、現在では巨大過ぎ、すぐ成長し過ぎでバスの測定すら不可能となっている。

「あああんっ♪ んんっ♪」

最近ちよつと右乳が物足りないわね。

ふむうっ♪ふむふむ。

うん。エルダならまだやれるわね！

私の原液注入1割増加♪

さあ、私のために育つといいわっ！」

すでに災害規模で噴射を続けているお嬢様の母乳だが  
更なる噴乳快感を求め続けるお嬢様によって勢いと量  
は増し続けている。

それほどの母乳。 それほどの育乳。

とても通常の食事では間に合わないため、豊満な尻には  
極太チューブが常時刺さり、特注栄養液が滝のように流  
れ込み、直結しているかのように体内で乳肉と母乳に変  
換されていく。

# 「進乳禁止区域・お嬢様搾乳所」

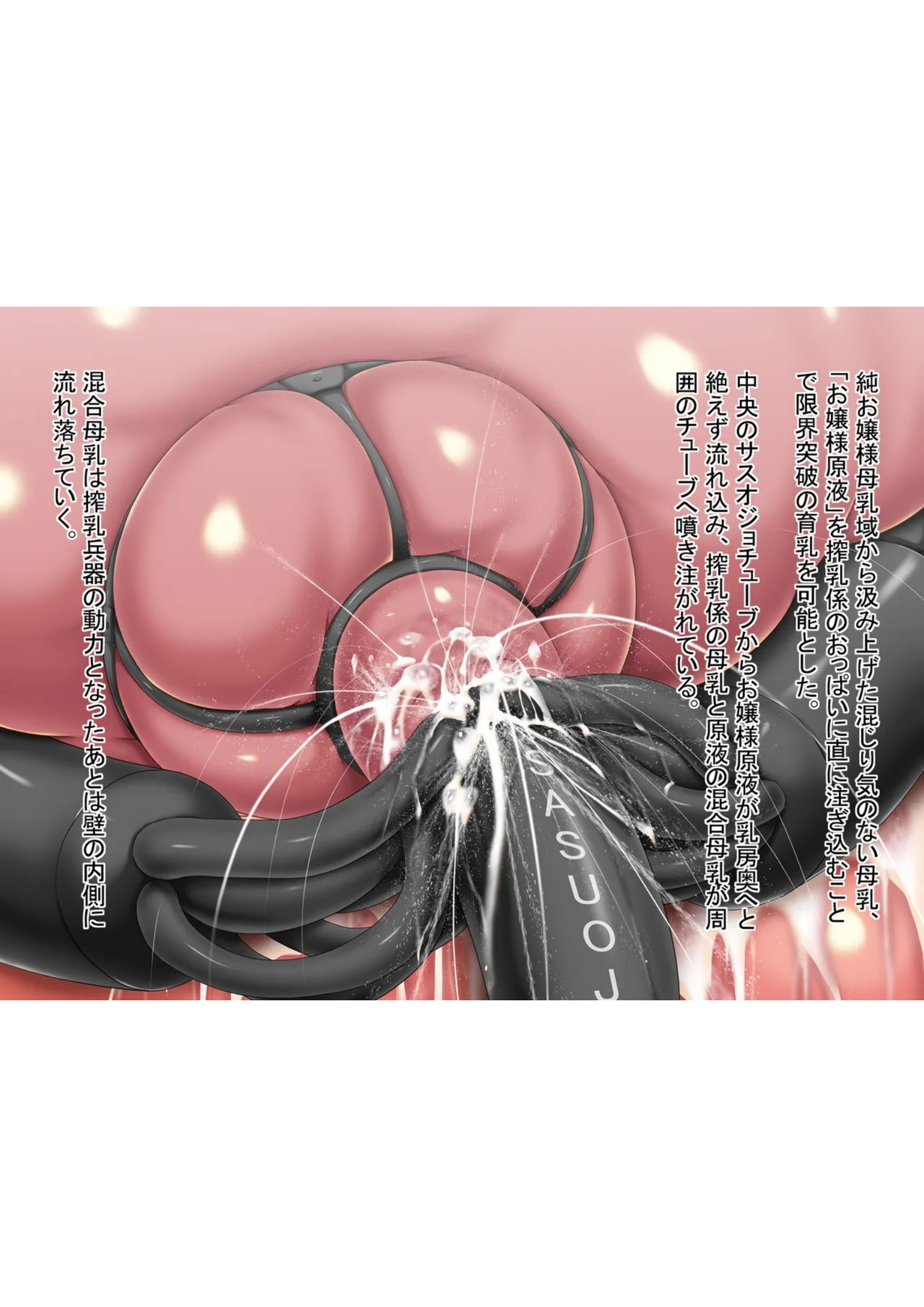
「搾乳係」はお嬢様直轄。

もう「こ」まで大きくなつたら気にしてもしょうがないと開き直り、かつ淫乱化したお嬢様の指示は容赦がない。

搾乳係のメイド達は強引に育乳され続け、すでに全員が2000mを突破している。

お嬢様が満足できるまで乳圧増加と搾乳係の噴乳を動力とした「搾乳兵器ミルニユルⅡ」の追加搭載は止まらない。

お嬢様乳首は一般超乳では危険なため立ち入り禁止区域。乳首先端が飛び出ている壁の向こうは「純お嬢様母乳域」。海のように広がっているそこは厳重な噴乳禁止区域である。



純お嬢様母乳域から汲み上げた混じり気のない母乳、「お嬢様原液」を搾乳係のおっぱいに直に注ぎ込むことで限界突破の育乳を可能とした。

中央のサスオジヨチューブからお嬢様原液が乳房奥へと絶えず流れ込み、搾乳係の母乳と原液の混合母乳が周囲のチューブへ噴き注がれている。

混合母乳は搾乳兵器の動力となったあとは壁の内側に流れ落ちていく。

## 「搾乳係エルダ乳域・展望室」

お嬢様原液の注入による強制育乳が開始されて以来  
メンテ作業は必要なく、常時最上級の絶頂が搾乳係を  
襲っている。

「ぢよっ…無理無理無理無理いっくらっつっ!!」

お嬢様あつ!! ボクのおっぱいは過信しすぎ!!

おっぱい苦しい…!!

れもお、イグイグイグイグウウツ…!!」

お嬢様の限界ぎりぎりの要求。

エルダおっぱいは激しいパイダルウェーブを起こし  
展望室がギチギチと軋む。

搾乳係達ははち切れおっぱい圧迫と自身の容量を  
遥かに超える噴乳の超快感にひたすら悶え続ける。



内包する大量母乳の移動、お嬢様乳域ではサスオシヨ成長で乳面が激しく変動する現象、パイダルウエーブ（乳殻変動）。

圧倒的噴乳量と飛散範囲でホワイトアウトする母乳嵐。

それらのパイ害を乗り越え、広大な乳域を走破するため開発されたチチーム（乳蒸気）エンジン搭載の車両「ダプンカー」。

母乳動力重機などと合わせること、進乳禁止区域での運搬や作業の難易度が緩和できる。

今や技術の発達はおっぱいの発達と同義。

全てのおっぱいの起点となっているお嬢様のおっぱいが色々な意味で世界の中心となるのは時間の問題であった。

嬢下町の隠れた立役者にして世界が超乳にまみれた元凶、古参メイドの一人、ティーリア。そんな彼女へ淫乱覚醒したお嬢様より与えられた「お灸を兼ねた御褒美」。

お嬢様原液特濃を尻穴と乳首から注入され続けられるという、破格の特別育乳待遇である。

「ぼおべっ……！の感……！  
まひや大きくなりゆうっ……！」

ついに非才の身にしてバストが2000Mに到達する。



だが、これは強制ではなく本人の意思。

お灸は充分ととつくの昔に自由の身であったが、ティーリアは自ら希望して拷問に近い育乳を続けていた。  
それがようやく目標を達成。 過剰な注入も終わりを迎える。

「はあっはあっ……！ さ、さすがお嬢様……！」

死にも狂いのこの大きさでもお嬢様乳首にすら及ばないとは！  
ホントにサスオジヨですっ……！ サスオジヨ過ぎますう♪

……お嬢様は好きだけひたすらに大きくなって下さいねえ。  
他の些事は我々メイド達にお任せ下さい……！」

覚醒したお嬢様を見て彼女は確信していた、お嬢様はどこまでも大きくなる。そして、そのあまりに巨大な力(おっぱい)はいずれ世界に受け入れられなくなると。

その時、お嬢様を護り育乳を邪魔する者を排除する力が必要となる。  
さすがに分かりやすい形の武力を公にできるはずもなく、限られた人材で秘密裏に進めなくてはならない。

「お嬢様護衛艦「ティーリア」・甲板」

乳首が超勃起する特性があった機械屋メイドを研究。結果、幾人かのメイドに超勃起乳首を開花させることに成功した。おっぱいが超大になるほど乳首も巨大化、勃起維持も長時間化するよ。うで、バスト50mもあればほぼ常時フル勃起できる。恐るべきさすがのお嬢様成分である。

硬い長乳首による加速噴乳は鋭く長距離を飛ぶ。

おっぱいという変形可能な素材を活かし各乳首で方向角度を調整可能。

乳頭砲台。

基本は母乳砲だが、実弾も装填すれば発射できる。

お嬢様を護るための強力な武乳力の1つである。

お嬢様を護るためと決意した者。

ティーリアの献身育乳に心動かされた者(策略ですけど何か?)。

世界よ。お嬢様のおっぱいに平伏せ♡(物理的にもな!)









